



Azure Marketplace からコネクタを作成する Cloud Manager

Ben Cammett
March 15, 2021

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/occm/task_launching_azure_mktp.html on June 07, 2021. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

| | |
|-------------------------------------|---|
| Azure Marketplace からコネクタを作成する | 1 |
| Azure でコネクタを作成する | 1 |
| Azure 権限を付与しています | 2 |

Azure Marketplace からコネクタを作成する

Cloud Manager からコネクタを直接作成することを推奨しますが、必要に応じて Azure Marketplace からコネクタを起動できます。Connector の作成とセットアップが完了すると、新しい作業環境を作成するときに、Cloud Manager によって自動的に Connector が使用されます。

Azure でコネクタを作成する

Azure Marketplace のイメージを使用して Azure に Connector を導入し、コネクタにログインして Cloud Central アカウントを指定します。

手順

1. ["Cloud Manager の Azure Marketplace ページにアクセスします。"](#)
2. [\[* Get it Now* \(今すぐ取得\)\]](#) をクリックし、[\[* Continue * \(続行\)\]](#) をクリックします。
3. Azure ポータルで、[* Create *](#) をクリックし、手順に従って仮想マシンを設定します。

VM を設定する際には、次の点に注意してください。

- Cloud Manager は、HDD または SSD ディスクのいずれかで最適なパフォーマンスを実現できます。
- CPU と RAM の要件を満たす VM サイズを選択します。DS3 v2 を推奨します。

["VM の要件を確認します"](#)。

- ネットワークセキュリティグループの場合、コネクタには、SSH、HTTP、および HTTPS を使用したインバウンド接続が必要です。

["コネクタのセキュリティグループルールの詳細については、こちらを参照してください"](#)。

- [\[* 管理 \(* Management \)\]](#) で、[\[* オン * \(* on * \)\]](#) を選択して、コネクターに割り当てられた管理 ID * を有効にします。

管理対象の ID を使用すると、Connector 仮想マシンはクレデンシャルを指定せずに自身を Azure Active Directory に識別できるため、この設定は重要です。["Azure リソース用の管理対象 ID の詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

4. [\[* Review + create * \(レビュー + 作成\)\]](#) ページで選択内容を確認し、[\[* Create * \(作成\)\]](#) をクリックして展開を開始します。

指定した設定で仮想マシンが展開されます。仮想マシンと Connector ソフトウェアが起動するまでの所要時間は約 5 分です。

5. Connector 仮想マシンに接続されているホストから Web ブラウザを開き、次の URL を入力します。

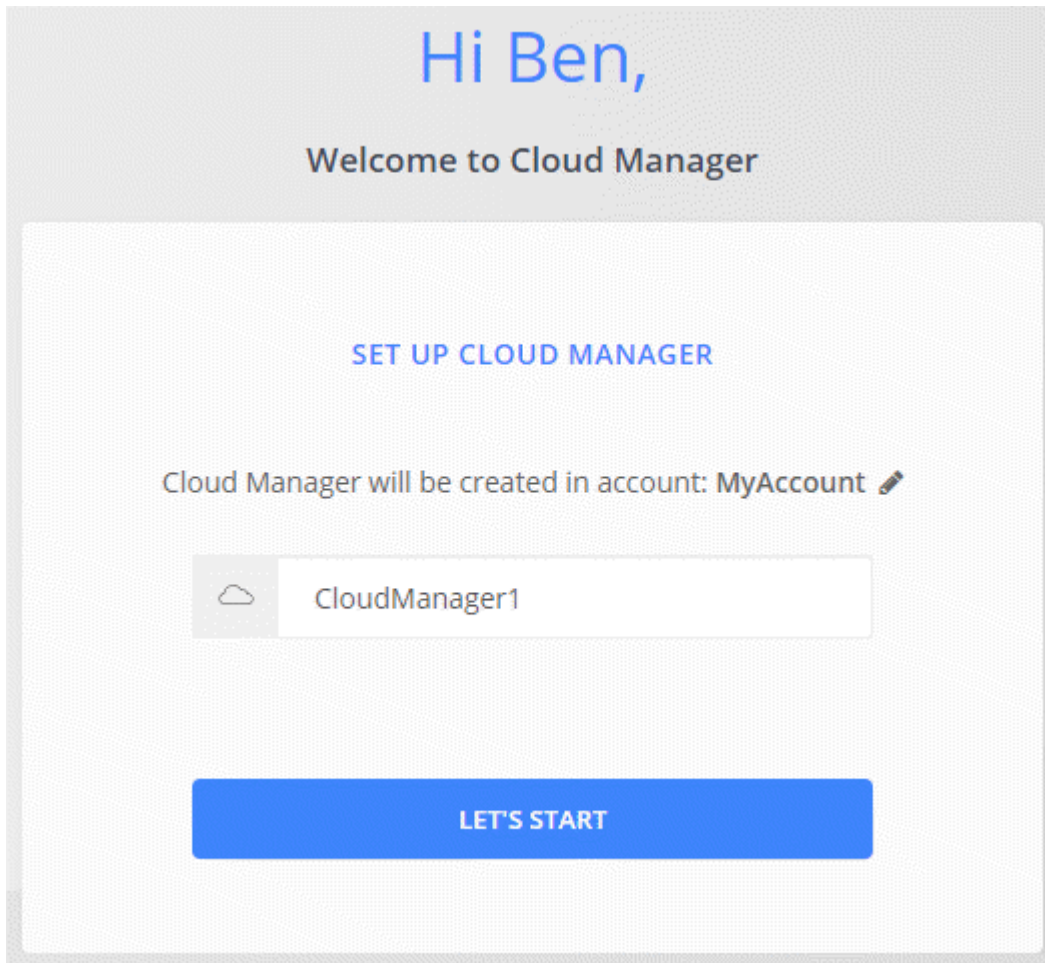
`http://ipaddress:80[""]`

6. ログイン後、コネクタを設定します。

- a. コネクタに関連付ける Cloud Central アカウントを指定します。

"Cloud Central アカウントについて詳しくは、[こちらをご覧ください](#)。"

- b. システムの名前を入力します。



これでコネクタがインストールされ、セットアップされました。Cloud Volumes ONTAP を Azure に導入するには、Azure の権限を付与する必要があります。

Azure 権限を付与しています

Azure にコネクタを導入したら、を有効にしておく必要があります ["システムによって割り当てられた管理 ID"](#)。カスタムロールを作成し、そのロールを Connector 仮想マシンに割り当てて、1 つ以上のサブスクリプションに必要な Azure 権限を付与する必要があります。

手順

1. Cloud Manager ポリシーを使用してカスタムロールを作成します。
 - a. をダウンロードします ["Cloud Manager Azure ポリシー"](#)。
 - b. 割り当て可能なスコープに Azure サブスクリプション ID を追加して、JSON ファイルを変更します。

ユーザが Cloud Volumes ONTAP システムを作成する Azure サブスクリプションごとに ID を追加する必要があります。

▪ 例 *

「譲渡対象」：「 / 契約 / D333AF45-0D07-4154-943D-C25FBZZZZ 」、「 / 契約 / 契約 /54B91999-B3E6-4599-908E-416E0ZZZZ 」、「 / 契約 /E471C-3B42-4AE7-9B59-CE5BBZZZZ 」**

- c. JSON ファイルを使用して、Azure でカスタムロールを作成します。

次の例は、Azure CLI 2.0 を使用してカスタムロールを作成する方法を示しています。

「 az role definition create — role-definition C : \Policy_for _cloud_Manager_azure_3.8.7.json 」という名前で作成します

これで、Connector 仮想マシンに割り当てることができる Cloud Manager Operator というカスタムロールが作成されます。

2. 1 つ以上のサブスクリプションのロールを Connector 仮想マシンに割り当てます。

- a. [サブスクリプション] サービスを開き、Cloud Volumes ONTAP システムを展開するサブスクリプションを選択します。
- b. 「 * アクセスコントロール (IAM) * 」をクリックします。
- c. [* 追加 > 役割の割り当ての追加 *] をクリックして、権限を追加します。
- Cloud Manager Operator * ロールを選択します。



Cloud Manager Operator は、で指定されたデフォルトの名前です "[Cloud Manager ポリシー](#)"。ロールに別の名前を選択した場合は、代わりにその名前を選択します。

- 仮想マシン * へのアクセスを割り当てます。
 - Connector 仮想マシンが作成されたサブスクリプションを選択します。
 - Connector 仮想マシンを選択します。
 - [保存 (Save)] をクリックします。
- d. 追加のサブスクリプションから Cloud Volumes ONTAP を導入する場合は、そのサブスクリプションに切り替えてから、これらの手順を繰り返します。

Connector には、パブリッククラウド環境内のリソースとプロセスを管理するために必要な権限が付与されました。Cloud Manager は、新しい作業環境の作成時にこのコネクタを自動的に使用します。ただし、コネクタが複数ある場合は、が必要です "[スイッチを切り替えます](#)"。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.